

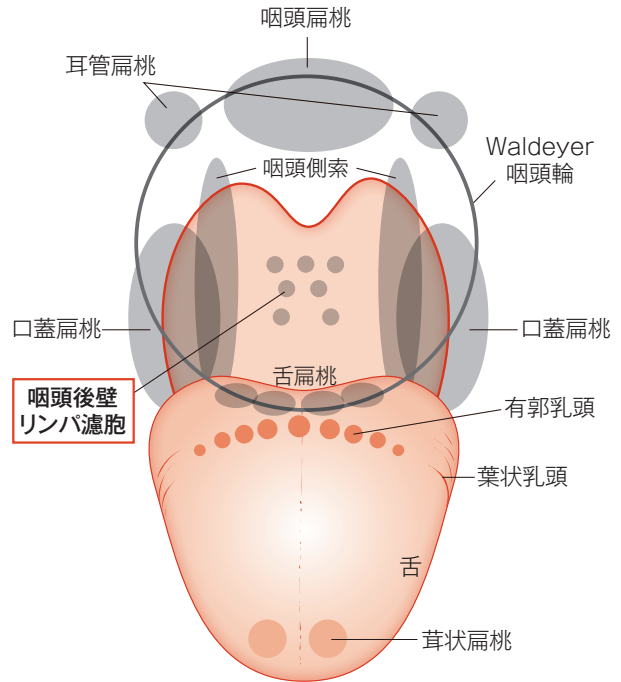
第2回「抗生物質を処方してほしいと言って来院した28歳女性」(2012年2月号)

ここでは、連載誌面ではご紹介できなかった、より詳しい解説を掲載しています。臨床推論をより深く学ぶうえで役立つ情報が載っていますので、ぜひ活用ください。

① 咽頭後壁リンパ濾胞

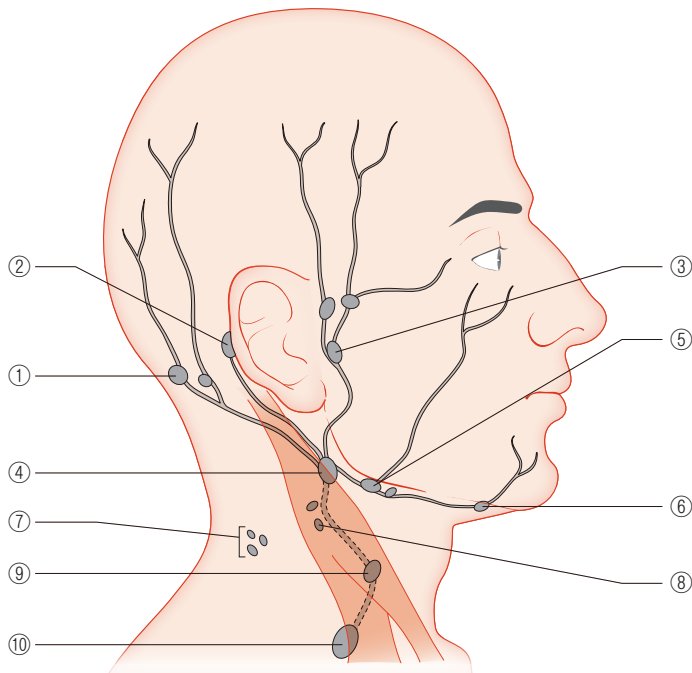
咽頭にはワルダイエル (Waldeyer) 咽頭輪と総称されるリンパ組織があります。具体的には口蓋扁桃(いわゆる扁桃腺。左右に1つずつあります)、咽頭扁桃(アデノイド。上咽頭にあり、口の中からは見えません)、舌扁桃(舌根部にあり、やはり口の中からは見えません)、耳管扁桃(上咽頭のアデノイドの両側にあります)、咽頭後壁に多数存在するリンパ濾胞などです。咽頭後壁リンパ濾胞の腫脹は、炎症が上咽頭から下方の咽頭全体まで進展し、咽頭粘膜や後壁のリンパ濾胞に及んでいる状態であることを示します。

図1 Waldeyer咽頭輪および舌乳頭



② 頸部リンパ節の部位

図2 頸部リンパ節群



- ①後頭リンパ節, ②耳介後リンパ節, ③耳介前リンパ節, ④扁桃リンパ節, ⑤顎下リンパ節, ⑥オトガイ下リンパ節, ⑦後頸リンパ節, ⑧浅頸リンパ節, ⑨深頸リンパ節(胸鎖乳突筋の下), ⑩鎖骨上リンパ節

[Steven McGee・原著, 柴田寿彦・訳: マクギーの身体診断学; エビデンスにもとづくグローバル・スタンダード 原著第2版, 診断と治療社, p.200, 2009より引用・改変]